



前のページ

[「核軍縮：日本の成績表」目次](#)

[「テーマ別」の目次](#)

次のページ

■ 評価委員（50音順）Members of the Evaluation Committee

梅林宏道 国際N G O運動の視点を日本の核兵器廃絶運動に導入した。非軍事的安全保障の実現に、全力投球。
UMEBAYASHI Hiromichi
(世話人、
ピースデポ代表)

黒沢 満 2003年には最近10年間の論文を集大成した『軍縮国際法』（信山社）を出版。日本の軍縮研究のオピニオン・リーダー。
KUROSAWA Mitsuru
(大阪大学)

竹村泰子 平和と人権がライフワーク。脱原発・環境、こどもの権利などからビルマの人権まで、市民の視点から政治を問う。
TAKEMURA Yasuko
(前参議院議員)

田中熙巳
TANAKA Terumi
(日本被団協)

長崎で被爆。核兵器の存在を許すことそのものが人類の道徳的退廃と、核兵器廃絶を訴えつづけてきた。現在、日本被団協の事務局長。

土山秀夫
TSUCHIYAMA Hideo
(元長崎大学学長)

核兵器廃絶のために官民をつなぐキーパーソン。2000年「核兵器廃絶－地球市民集会ナガサキ」をリード。

都留康子
TSURU Yasuko
(東京学芸大学)

平和学会誌『平和研究』2002年11月第27号に論文「21世紀核廃絶への方途－NGO、市民と国家の連携の模索」を発表。ピースデポの熱い応援団。

仁木三智子
NIKI Michiko
(日本YWCA)

核兵器廃絶運動と共に、日本の原発依存からの脱却と新エネルギー促進への運動を進める。

平岡 敬
HIRAOKA Takashi
(元広島市長)

広島市長として「核の傘」離脱を訴えた。いまセミパラチンスクの被爆者問題にとり組む。

前田哲男
MAEDA Tetsuo
(東京国際大学)

ジャーナリストとしてとり組んだマーシャル諸島の核の棄民問題が原点。幅広く軍事問題に明るい。

森瀧 春子

インド、パキスタンの青少年とヒロシマ市民の交流を進める。アメリカやイ

MORITAKI Haruko
(核兵器廃絶をめざす
ヒロシマの会)

ラクへの市民平和使節団派遣、3. 2 イラク反戦人文字市民行動に取り組む。

「核軍縮：日本の成績表」評価委員会

〒223-0051 横浜市港北区箕輪町3-3-1 日吉グリュエネ102 ピースデポ気付
Tel: 045-563-5101 Fax: 045-563-9907

E-mail: npt@peacedepot.org

▲ [ページの先頭に戻る](#)

▲ [目次へ](#)

前のページ

[「核軍縮：日本の成績表」目次](#)

[「テーマ別」の目次](#)

次のページ

特定非営利活動法人

ピースデポ

〒223-0051 横浜市港北区箕輪町3-3-1-102
TEL : 045-563-5101 F A X : 045-563-9907
Email : office@peacedepot.org

